

第11回 神戸電鉄粟生線活性化協議会 議事録

日時：平成24年1月13日(金) 14:00～16:00

場所：三木市立教育センター 出席者：別紙のとおり

開 会

- ・ 開会にあたり、副会長より、「神戸電鉄粟生線存続戦略会議」で議論されている存続のための自治体支援については継続協議することとなったが、本協議会ではその議論とは棲み分けをして、引き続き利用を増やしていくことについての議論をしていきたいとの挨拶があった。

(1) 第10回協議会議事録の確認

- ・ 第10回協議会の議事概要について議事録の確認がなされた。

(2) 報告事項

- 以下の事項について、神戸電鉄および事務局から資料に基づく報告があった。

①平成23年度（～12月）神戸電鉄粟生線の輸送人員実績

- ・ 神戸電鉄・三津澤委員より、資料-2 報告。
- ・ 4～12月の状況について、協議会の利用促進事業や三木市の福祉パス発行のほか、高校の一時移転による影響もあり、定期外、通学の対前年比で増加したが、通勤は減少が続き、合計では前年並みの輸送人員となっている。当初目標との比較では 23年度目標710万人に対して 680万人程度となる見込みで、24年度目標の730万人達成は厳しい状況である旨の報告があった。

②平成23年度における協議会の取り組み状況

- ・ 事務局より、資料-3、資料-3-1 報告。
- ・ シニアパスの発売が着実に増えていること、三木市自由が丘でのアンケートでの要望を踏まえ、平日昼間・土休日に三宮まで1回当たりワンコイン（500円）で利用できる企画乗車券を試験発売すること、モビリティ・マネジメントの一環として実施した1回目の沿線住民アンケートの結果等について報告があった。

③平成23年度事業計画について

- ・ 事務局より、資料-4 報告。
- ・ 実施済みの事業および年度内に実施予定の事業について報告があり、計画事業費約95百万円とほぼ同額の事業を実施する予定であるとの報告があった。
- ・ なお、当初計画していた三木駅構外トイレ整備は兵庫県および三木市により実施することとなったため、その事業費を用地確保が可能となった時間貸パーク

アンドライド駐車場の整備に充当するほか、キャラクターデザインの座席シート
の導入を追加実施することを確認し、国の補助金交付に関する当初計画変更
の手続きを行うことについて承認を得た。

④平成 24 年度の取組みについて（案）

- ・ 事務局より、資料-5 報告。
- ・ 取り組みの基本方針と実施する事業内容の方向性について確認し、次回に具体
施策や事業規模を含む事業計画を審議することとした。

(3) 議題

- 議案 1 号「『平成 23 年度 神戸電鉄粟生線 地域公共交通活性化・再生総合事業計画』
に関する事後評価の承認」について、事務局から資料-6 に基づき、取り組み内容
と約 15 万人の効果を見込んでいるとの報告があった。

(4) 意見交換

■平成 23 年度事業関係（報告事項①～③および議案 1 号）に関して

- 座長より以下のコメントがあった。

- ・ シニアパスが好調なことや、三木市住民アンケートの声を反映した昼間割引きっ
ぷの新規発売など、運賃設定と利用者増加の関係について実績データを基にしっ
かり検証をしていてもらいたい。新規の昼間割引きっぷについては、住民提案
で企画きっぷの実現までに至ることは珍しく、一歩ずつの成果として、是非とも、
地域の皆さんも誘い合わせて利用の輪を広げていてもらいたい。
- ・ モビリティ・マネジメントのアンケート結果について、約 30%の回収率は他の例に
比べても高い。今回は駅周辺 1 キロ圏を対象に絞って実施したが、約 500 人が粟
生線の利用が増えたということで反応はあったと考えられ、今後はこのような層
をどう増やしていくかが課題である。

- 委員より以下の質問・意見が出された。

- ・ 平日昼間・土休日の割引きっぷの試験導入は、地域の声を反映した施策としてう
れしく思う。PR もしっかり実施して、三宮方面への利用が増えればよいと思う。
- ・ さらに、市内移動は 100 円で利用できるような施策は考えられないか。
⇒今回の昼間割引きっぷは、既存の乗車券を利用することで機器やシステム改造
なしに実施することができたが、市内限定の 100 円きっぷについてはシステム
改造に多額のコストがかかるため、現時点で実施は難しい。（神戸電鉄）
- ・ 利用にあたっては、駅へのアクセスとしてバスとの連携が重要だと思うが、対策
は考えられているか。
⇒三木市では市域の交通政策を見直した計画を策定中で、その中でコミュニティ
バスのあり方についても見直し作業を行っているところである。（三木市）

- ・ 協議会だよりも自治会でも回覧されるようになり、住民への利用の呼びかけもしやすくなった。このような周知を徹底すればモビリティ・マネジメントのアンケート回収率ももっと上がったのではないかと。アンケート内容については、2回目は回答しやすかったが、1回目は特に高齢者には分かりにくかったと思う。
 - ・ 利用促進にあたっては、特に高齢者に配慮して、スロープの整備や新開地駅での乗換階段の改善など、駅の構造を利用しやすくすることも考えてもらいたい。そうでないと利用しやすいバスに流れてしまうことになる。
 - ・ 昼間割引きっぷについては、自治体内でも積極的にPRして利用を呼びかけ、どれだけ利用してもらえるか確認していきたい。
 - ・ 時間貸しパークアンドライド駐車場の整備を拡大するということだが、どれだけの規模か。また事業費に用地代は含まれるのか。
⇒ 本年度整備する台数は、広野ゴルフ場前 10 台、三木 20 台、押部谷 8 台、小野（第2）8 台の 46 台分で、前年度に整備した小野 10 台と合わせると 56 台分になる。 事業費については駐車場機器等の整備費や PR 費のみで、用地代は運営を行う神戸電鉄の負担で協議会の事業費には含まれていない。（事務局）
 - ・ 事後評価については、モビリティ・マネジメントのアンケート回収率が高かったことや、来年度以降も展開を図っていくような反応もあったという意味で、その成果を強調して表現してはどうか、また、住民アンケートの意見を反映して新規企画きっぷを導入するなど工夫したことが分かるような記載を考えてはどうか。
- 近畿運輸局より以下のコメントがあった。
- ・ モビリティ・マネジメントについては、さまざまな取り組みを実施していただいたことを評価したい。 さらに来年度には、サポーターズクラブの取り組みも実施して行ってもらいたい。
 - ・ シニアパス発売やパークアンドライド駐車場の整備拡大など、実際に効果を伴う施策に取り組まれているが、実施効果としては当初計画の約 20 万人に対して約 15 万人の見込みとなっている。15 万人は少ない規模ではなく、前年度からは費用対効果も向上しているが、1 人あたりの事業費で見ると約 630 円になる。来年度も利用促進を続けていくにあたっては、さらに費用対効果を高める努力をしていただきたい。
 - ・ 当初計画の 20 万人に比べて 15 万人の効果見込にとどまった理由は何か。 また、効果測定しにくいものもあると思うが、15 万人の内訳はどのような状況か。
⇒ 予定の効果に届かなかった理由としては、モビリティ・マネジメントの取り組

みについて予定よりも実施時期が遅くなったことにより本年度内の効果が少なくなったことや、パークアンドライド駐車場の整備拡大など初期投資を伴うハード整備事業の規模が大きくなったことが考えられる。ハード整備事業については、来年度以降も効果が継続するので、それも考慮すれば実質的な費用対効果は高くなる。また、事業の実施に当たっては、イベントにおける地域店舗等の協力や、PRにおける地元自治会等の協力をお願いするなど、前年度よりも費用削減に努めた。事業効果の内訳については、事後評価の資料の中に記載していくことを考えたい。（事務局）

- 座長より、議案1号の国へ提出する事後評価に関する資料について、基本的な内容は報告された内容で提出することで了解いただき、委員から出された意見を踏まえて、事務局、座長、会長で全体の調整をすることで一任いただきたいとのコメントがあり、承認された。

■平成24年度事業関係（報告事項④）に関して

- 座長より以下のコメントがあった。

- ・ 利用促進事業を進めていくに当たっては、沿線事業所へのモビリティ・マネジメントの取り組みや、市や県による公共交通利用の率先行動の推進など、地道な活動を続けていくことが効果を上げていくうえで重要で、サポーターとの連携があればさらに効果は高まると思われる。効果が出てこないと活動も続かないので、まずは鉄道の必要性を考えて、皆で誘い合って乗ってもらうことが大事である。

(5) その他

- ・ 座長より、協議会のモビリティ・マネジメントの取組みの一環として、2月19日にシンポジウムが開催されるので、是非誘い合わせて多くの方に参加してもらいたいとのコメントがあった。
- ・ 次回（第12回）協議会については3月下旬に開催予定で、平成24年度事業計画案を審議していただく予定である旨、事務局より報告があった。

閉 会

以上

第11回 神戸電鉄粟生線活性化協議会 出席者（敬称略）

○委員

氏名	所属・役職	出欠
三島 功裕	神戸市企画調整局 参事	
長谷川 高義	三木市 まちづくり部長	代理出席
小林 清豪	小野市 副市長	
三津澤 修	神戸電鉄株式会社 常務取締役 鉄道事業本部長	
中垣 千秋	押部谷町連合自治協議会会長	欠席
中野 美都子	押部谷町連合自治協議会副会長	
蓬莱 道龍	前 三木地区区長協議会会長	
安福 恵子	三木市区長協議会連合会会長	
田中 歳彦	前 小野市連合区長会会長	
多鹿 豊	小野市商店街理事	
土井 勉	京都大学大学院 工学研究科 特定教授	

○オブザーバー

氏名	所属・役職	出欠
浪越 祐介	国土交通省 近畿運輸局 企画観光部 交通企画課長	
山本 勝	国土交通省 近畿運輸局 鉄道部 計画課長	
宮本 健一郎	兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課 課長補佐	代理出席
西田 俊哉	兵庫県 神戸県民局 主幹	代理出席
中井 昌彦	兵庫県 北播磨県民局 地域振興課長	代理出席
竹本 真也	神戸市西区 まちづくり推進部 まちづくり課長	欠席